

News Release

平成22年2月9日

パイオニア株式会社 平成22年3月期 第3四半期 連結業績についてのお知らせ

1. 連結経営成績

(金額単位 百万円)

| 科 目 | 第 3 四 半 期 | | | 第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間 | | |
|------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------|
| | 平成22年3月期 (平成21年10月 ～平成21年12月) | 平成21年3月期 (平成20年10月 ～平成20年12月) | 前 年 同 期 比 | 平成22年3月期 (平成21年4月 ～平成21年12月) | 平成21年3月期 (平成20年4月 ～平成20年12月) | 前 年 同 期 比 |
| 売 上 高 | 119,051 | 131,231 | 90.7% | 322,784 | 458,273 | 70.4% |
| 営業利益 (△損失) | 1,003 | △11,350 | — | △21,757 | △25,690 | — |
| 経 常 損 失 | △566 | △11,962 | — | △24,836 | △25,502 | — |
| 当 期 純 損 失 | △3,873 | △29,895 | — | △44,730 | △73,966 | — |

平成22年3月期第3四半期における連結売上高は、主に事業撤退するプラズマディスプレイの売上が減少したことから、前年同期に比べ9.3%減収の119,051百万円となりました。

営業損益は、売上が減少したものの、構造改革の効果等による原価率の良化や販売費及び一般管理費の減少により、前年同期の11,350百万円の損失から、1,003百万円の利益となりました。また、当期純損失は、営業損益の改善に加え、前年同期に計上した投資有価証券評価損が当四半期にはなかったことから、前年同期の29,895百万円から改善し、3,873百万円となりました。

当四半期の為替レートは、前年同期に比べ、対米ドルは7.4%の円高、対ユーロは4.5%の円安となりました。

カーエレクトロニクスの売上は、カーオーディオの売上は増加しましたが、カーナビゲーションシステムの売上が減少したことから、前年同期に比べ2.4%減収の64,751百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、市販市場向けの売上は、主に国内で減少したことから、OEMの売上は、国内や北米で減少したことから、ともに減収となりました。カーオーディオについては、市販市場向けの売上は、北米で減少しましたが、中南米およびインドで増加したことから、増収となりました。OEMの売上は、国内や中国および北米で増加したことから、増収となりました。なお、カーエレクトロニクス全体の売上高に占めるOEMの売上構成比は、前年同期並みの約47%となりました。

国内外別の売上については、国内は7.8%減収の27,297百万円、海外は2.0%増収の37,454百万円となりました。

問合せ先：コーポレートコミュニケーション部 IR課

電 話 (044) 580-1004

ファクシミリ (044) 580-4064

Eメール pioneer_ir@post.pioneer.co.jp

U R L <http://pioneer.jp/ir/>

ご注意：この記者発表文は当社の平成22年3月期第3四半期決算に関して一般に公表するためのものであり、当社株式への投資勧誘を目的に作成されたものではありません。また、この記者発表文は、当社株式の日本、英国または米国における勧誘を構成するものではなく、英国2000年金融サービス・市場法上の投資活動または金融営業活動に携わるように勧誘または誘導することにも該当しません。当該株式は1933年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また今後登録されるものでもなく、1933年米国証券法に基づき証券の登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において当該株式の募集又は販売を行うことは許されません。本件においては日本、米国および英国における証券の公募は行われません。

営業損益は、生産台数は減少したものの、構造改革の効果等による固定費の減少により、前年同期の1,213百万円の損失から、2,176百万円の利益となりました。

ホームエレクトロニクスの売上は、光ディスク事業の合弁開始によりブルーレイディスク関連製品が増加しましたが、プラズマディスプレイやDVDドライブの売上が減少したことから、前年同期に比べ24.4%減収の38,854百万円となりました。

国内外別の売上については、国内は40.6%増収の14,383百万円、海外は40.6%減収の24,471百万円となりました。

営業損失は、構造改革の効果等による固定費の減少により、前年同期の9,752百万円から、2,318百万円となりました。

その他の売上は、FA関連機器の売上は減少したものの、光ディスク関連の特許料収入および電子部品、業務用AVシステムの売上が増加したことから、前年同期に比べ14.7%増収の15,446百万円となりました。

国内外別の売上については、国内は2.4%増収の9,307百万円、海外は40.4%増収の6,139百万円となりました。

営業損益は、光ディスク関連の特許料収入が増加したことなどにより、前年同期の624百万円の損失から、1,368百万円の利益となりました。

平成22年3月期第3四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期に比べ29.6%減収の322,784百万円となりました。一方、営業損失は、前年同期の25,690百万円から改善し、21,757百万円となりました。また、当期純損失は、投資有価証券評価損や税金費用の減少により、前年同期の73,966百万円から改善し、44,730百万円となりました。

(注) 各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

2. 連結財政状態

当第3四半期連結会計期間末（平成21年12月31日現在）の総資産については、棚卸資産や有形および無形固定資産が減少したことにより、前期末に比べ39,355百万円減少し、389,738百万円となりました。棚卸資産は、事業撤退するプラズマディスプレイの在庫処分が進んだことに加え、カーエレクトロニクスの在庫も減少したことにより、19,646百万円減少し、65,240百万円となりました。有形固定資産は、設備投資の抑制により11,177百万円減少し、100,990百万円となりました。無形固定資産は、新規取得の抑制や特許権の売却などにより、10,571百万円減少し、34,227百万円となりました。

負債については、特別退職金の支払いなどにより未払費用が9,753百万円減少しましたが、生産増に対応して支払手形及び買掛金が22,112百万円増加したことから、前期末に比べ3,325百万円増加し、320,570百万円となりました。

純資産については、主に当期純損失44,730百万円を計上したことにより、前期末に比べ42,680百万円減少し、69,168百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）のキャッシュ・フローについては、営業活動で使用したキャッシュは、323百万円となりました。これは、現金支出を伴わない減価償却費30,868百万円や仕入債務の増加22,867百万円などのキャッシュ増加要因を、税金等調整前当期純損失39,844百万円や未払費用の減少9,877百万円、売上債権の増加8,583百万円などのキャッシュ減少要因が上回ったことによるものです。投資活動で使用したキャッシュは、7,180百万円となりました。これは特許権等の固定資産の売却で

9,910百万円を得ましたが、固定資産の新規取得で17,360百万円を使用したことによるものです。また、財務活動では、合弁会社設立に伴う少数株主からの払込などにより、1,934百万円のキャッシュを得ました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ6,646百万円減少し、57,100百万円となりました。

3. 連結業績予想

平成21年10月29日に発表した平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の連結業績予想について、次のとおり修正します。

（金額単位 百万円）

| | 売上高 | 営業損失 | 経常損失 | 当期純損失 |
|-----------------------|---------|---------|---------|----------|
| 前回発表予想（A） | 451,000 | △25,500 | △30,000 | △59,500 |
| 今回修正予想（B） | 445,000 | △21,600 | △27,100 | △54,000 |
| 増減額（B－A） | △6,000 | 3,900 | 2,900 | 5,500 |
| 増減率（％） | △1.3 | － | － | － |
| 平成21年3月期通期実績 （ご参考） | 558,837 | △54,529 | △54,420 | △130,529 |

売上高は、主に市販カーナビゲーションシステムの売上が計画を下回ったことや、ブルーレイディスク関連製品の受注が減少したことなどから、前回発表予想の4,510億円から4,450億円に修正します。

営業損失は、売上高は減少するものの、構造改革の効果等による固定費の減少や原価率の良化などにより、前回発表予想の255億円から216億円に修正します。また、経常損失は、300億円から271億円に、当期純損失は、595億円から540億円にそれぞれ修正します。

なお、以上の業績予想においては、第4四半期の為替の前提レートを、1米ドル＝93円、1ユーロ＝133円としています。

4. 中期経営計画

平成21年4月28日に発表した中期の連結業績見通しについて、その後取り組んできました合弁事業等をはじめ、各種構造改革施策の効果による収益の改善や資産の売却、一層の材料費低減活動などを織り込み、さらに為替前提を考慮して、各年度の数値計画を次のとおり修正します。

（金額単位 億円）

| | 平成22年3月期予想 | 平成23年3月期予想 | 平成24年3月期予想 |
|------------|------------|------------|------------|
| 売上高 | 4,450 | 4,850 | 5,660 |
| 営業利益（△損失） | △216 | 170 | 270 |
| 当期純利益（△損失） | △540 | 90 | 165 |

平成22年3月期以降の連結業績見通しにおける為替の前提レートは、1米ドル＝93円および1ユーロ＝133円を想定しています。

平成23年3月期および平成24年3月期については、ホームエレクトロニクスでの合弁会社設立による光ディスク事業の売上増と、カーエレクトロニクスでの売上増、および一層の材

料費低減活動等による損益改善を見込むことから、上方修正します。

純資産は、当期（平成22年3月期）においては構造改革の実施により減少しますが、平成24年3月末に向けて、構造改革効果等による営業損益の改善により増加を見込んでいます。また、同時に、ネット有利子負債の削減を進めてまいります。

キャッシュ・フローについても、同様に、構造改革効果等による営業損益の改善や資産売却等により、改善してまいります。なお、平成24年3月期のフリー・キャッシュ・フローは240億円のプラスを見込んでいます。

5. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、これまでの売上高の著しい減少や大幅な損失の計上によって依然として厳しい財政状態が続いていますが、抜本的な構造改革を断行することで、当四半期においては営業損益の黒字化を達成するなど経営状態は大きく改善しています。

また、平成21年3月期より、当社は、複数の取引銀行と締結した借入契約上の財務制限条項に抵触していますが、取引銀行との協議の結果、当該借入契約の期限の利益を喪失することなく、契約に基づく既存借入金の融資継続に応じていただいています。

当社は、平成23年3月の転換社債600億円の償還を含めて、当初400億円規模の資金調達を必要としていましたが、取引銀行から引き続き融資継続のご支援をいただいていることや、今後、目黒旧本社等の事業に関連の低い資産の売却を進めることから、それらは、自己資金で賄う予定です。さらに、成長資金を賄うための資金調達として、本日発表しましたとおり、「海外募集による新株式発行」および「第三者割当による新株式発行」等を実施することで、財政状態は大幅に改善することが見込まれます。この結果、当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせる状況は解消できるものと判断しています。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合弁、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

6. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|----------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 57,099 | 63,745 |
| 受取手形及び売掛金 | 69,730 | 60,989 |
| 商品及び製品 | 32,905 | 45,169 |
| 仕掛品 | 11,863 | 14,699 |
| 原材料及び貯蔵品 | 20,472 | 25,018 |
| 繰延税金資産 | 6,803 | 7,097 |
| その他 | 15,484 | 17,420 |
| 貸倒引当金 | △2,069 | △2,035 |
| 流動資産合計 | 212,287 | 232,102 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 101,942 | 102,285 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 | 163,863 | 176,593 |
| その他 | 33,768 | 34,078 |
| 減価償却累計額 | △198,583 | △200,789 |
| 有形固定資産合計 | 100,990 | 112,167 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,360 | 1,420 |
| ソフトウェア | 31,397 | 39,215 |
| その他 | 1,470 | 4,163 |
| 無形固定資産合計 | 34,227 | 44,798 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 23,311 | 18,972 |
| 繰延税金資産 | 11,320 | 12,484 |
| その他 | 7,551 | 8,470 |
| 貸倒引当金 | △7 | △7 |
| 投資その他の資産合計 | 42,175 | 39,919 |
| 固定資産合計 | 177,392 | 196,884 |
| 繰延資産 | 59 | 107 |
| 資産合計 | 389,738 | 429,093 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 62,910 | 40,798 |
| 短期借入金 | 111,847 | 110,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,664 | 2,664 |
| 未払法人税等 | 4,946 | 4,153 |
| 未払費用 | 41,010 | 50,763 |
| 製品保証引当金 | 3,890 | 4,222 |
| その他 | 13,200 | 19,820 |
| 流動負債合計 | 240,467 | 232,420 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 60,600 | 60,600 |
| 長期借入金 | 4,700 | 6,515 |
| 退職給付引当金 | 10,152 | 12,704 |
| その他 | 4,651 | 5,006 |
| 固定負債合計 | 80,103 | 84,825 |
| 負債合計 | 320,570 | 317,245 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 69,824 | 69,824 |
| 資本剰余金 | 102,054 | 102,054 |
| 利益剰余金 | △31,480 | 13,250 |
| 自己株式 | △11,124 | △11,124 |
| 株主資本合計 | 129,274 | 174,004 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,464 | 1,552 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 42 |
| 為替換算調整勘定 | △68,371 | △63,549 |
| 海外子会社年金調整額 | △1,516 | △1,551 |
| 評価・換算差額等合計 | △63,423 | △63,506 |
| 少数株主持分 | 3,317 | 1,350 |
| 純資産合計 | 69,168 | 111,848 |
| 負債純資産合計 | 389,738 | 429,093 |

(2) 四半期連結損益計算書
 <第3四半期連結累計期間>

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 458,273 | 322,784 |
| 売上原価 | 373,297 | 275,150 |
| 売上総利益 | 84,976 | 47,634 |
| 販売費及び一般管理費 | 110,666 | 69,391 |
| 営業損失(△) | △25,690 | △21,757 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,650 | 471 |
| 受取配当金 | — | 385 |
| 助成金収入 | — | 443 |
| その他 | 1,054 | 623 |
| 営業外収益合計 | 3,704 | 1,922 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,293 | 2,464 |
| 為替差損 | 338 | 821 |
| その他 | 885 | 1,716 |
| 営業外費用合計 | 3,516 | 5,001 |
| 経常損失(△) | △25,502 | △24,836 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 875 | 6,233 |
| その他 | 72 | 224 |
| 特別利益合計 | 947 | 6,457 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 1,960 | 28 |
| 投資有価証券評価損 | 14,217 | 363 |
| 事業構造改善費用 | 18,012 | 19,549 |
| その他 | 190 | 1,525 |
| 特別損失合計 | 34,379 | 21,465 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △58,934 | △39,844 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,669 | 3,419 |
| 法人税等調整額 | 6,239 | 1,333 |
| 法人税等合計 | 14,908 | 4,752 |
| 少数株主利益 | 124 | 134 |
| 四半期純損失(△) | △73,966 | △44,730 |

<第3四半期連結会計期間>

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 131,231 | 119,051 |
| 売上原価 | 110,654 | 93,146 |
| 売上総利益 | 20,577 | 25,905 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,927 | 24,902 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △11,350 | 1,003 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 624 | 126 |
| 受取配当金 | 234 | 124 |
| 助成金収入 | — | 41 |
| その他 | 6 | 182 |
| 営業外収益合計 | 864 | 473 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 642 | 823 |
| 為替差損 | 548 | 879 |
| その他 | 286 | 340 |
| 営業外費用合計 | 1,476 | 2,042 |
| 経常損失(△) | △11,962 | △566 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 86 | 171 |
| 子会社株式売却益 | — | 72 |
| その他 | 4 | 22 |
| 特別利益合計 | 90 | 265 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 515 | — |
| 投資有価証券評価損 | 13,728 | — |
| 事業構造改善費用 | 2,284 | 1,173 |
| その他 | 99 | 472 |
| 特別損失合計 | 16,626 | 1,645 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △28,498 | △1,946 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △443 | 2,012 |
| 法人税等調整額 | 1,813 | △183 |
| 法人税等合計 | 1,370 | 1,829 |
| 少数株主利益 | 27 | 98 |
| 四半期純損失(△) | △29,895 | △3,873 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △58,934 | △39,844 |
| 減価償却費 | 32,171 | 30,868 |
| 減損損失 | 1,960 | 28 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | — | △2,592 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,262 | △856 |
| 支払利息 | 2,293 | 2,464 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 14,217 | 363 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | △685 | △4,854 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 13,176 | △8,583 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △33,638 | 19,080 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △4,748 | 22,867 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 486 | △9,877 |
| その他 | △7,114 | △3,526 |
| 小計 | △44,078 | 5,538 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,791 | 855 |
| 利息の支払額 | △1,924 | △2,463 |
| 法人税等の支払額 | △8,059 | △4,253 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △51,270 | △323 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △37,762 | △17,360 |
| 固定資産の売却による収入 | 1,294 | 9,910 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 145 | 532 |
| 保険積立金の解約による収入 | 5,515 | — |
| その他 | △96 | △262 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △30,904 | △7,180 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 62,894 | 1,967 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,215 | △1,815 |
| 社債の償還による支出 | △10,000 | — |
| 配当金の支払額 | △513 | — |
| 少数株主からの払込みによる収入 | — | 2,040 |
| その他 | △395 | △258 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 49,771 | 1,934 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △5,455 | △1,077 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △37,858 | △6,646 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 81,180 | 63,746 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 43,322 | 57,100 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. セグメント別売上高

(単位：百万円)

| | | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | | 前年 同期比 |
|-------------|----|--|-------|--|-------|-----------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| カーエレクトロニクス | 国内 | 92,933 | 20.3% | 75,801 | 23.5% | 81.6% |
| | 海外 | 147,048 | 32.1 | 103,515 | 32.1 | 70.4 |
| | | 239,981 | 52.4 | 179,316 | 55.6 | 74.7 |
| ホームエレクトロニクス | 国内 | 23,608 | 5.2 | 28,054 | 8.7 | 118.8 |
| | 海外 | 147,750 | 32.2 | 74,484 | 23.1 | 50.4 |
| | | 171,358 | 37.4 | 102,538 | 31.8 | 59.8 |
| その他 | 国内 | 30,129 | 6.5 | 26,588 | 8.2 | 88.2 |
| | 海外 | 16,805 | 3.7 | 14,342 | 4.4 | 85.3 |
| | | 46,934 | 10.2 | 40,930 | 12.6 | 87.2 |
| 連結売上高計 | 国内 | 146,670 | 32.0 | 130,443 | 40.4 | 88.9 |
| | 海外 | 311,603 | 68.0 | 192,341 | 59.6 | 61.7 |
| | | 458,273 | 100.0 | 322,784 | 100.0 | 70.4 |

(単位：百万円)

| | | 前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) | | 当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) | | 前年 同期比 |
|-------------|----|---|-------|---|-------|-----------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| カーエレクトロニクス | 国内 | 29,613 | 22.6% | 27,297 | 22.9% | 92.2% |
| | 海外 | 36,727 | 28.0 | 37,454 | 31.5 | 102.0 |
| | | 66,340 | 50.6 | 64,751 | 54.4 | 97.6 |
| ホームエレクトロニクス | 国内 | 10,233 | 7.8 | 14,383 | 12.1 | 140.6 |
| | 海外 | 41,193 | 31.4 | 24,471 | 20.5 | 59.4 |
| | | 51,426 | 39.2 | 38,854 | 32.6 | 75.6 |
| その他 | 国内 | 9,092 | 6.9 | 9,307 | 7.8 | 102.4 |
| | 海外 | 4,373 | 3.3 | 6,139 | 5.2 | 140.4 |
| | | 13,465 | 10.2 | 15,446 | 13.0 | 114.7 |
| 連結売上高計 | 国内 | 48,938 | 37.3 | 50,987 | 42.8 | 104.2 |
| | 海外 | 82,293 | 62.7 | 68,064 | 57.2 | 82.7 |
| | | 131,231 | 100.0 | 119,051 | 100.0 | 90.7 |

2. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

| | カーエレクトロニクス | ホームエレクトロニクス | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------|------------|-------------|--------|---------|----------|---------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対するもの | 239,981 | 171,358 | 46,934 | 458,273 | — | 458,273 |
| (2) セグメント間の内部取引 | 1,531 | 423 | 22,475 | 24,429 | (24,429) | — |
| 計 | 241,512 | 171,781 | 69,409 | 482,702 | (24,429) | 458,273 |
| 営業利益(△損失) | 1,563 | △24,099 | △445 | △22,981 | (2,709) | △25,690 |

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

| | カーエレクトロニクス | ホームエレクトロニクス | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------|------------|-------------|--------|---------|----------|---------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対するもの | 179,316 | 102,538 | 40,930 | 322,784 | — | 322,784 |
| (2) セグメント間の内部取引 | 1,362 | 567 | 11,064 | 12,993 | (12,993) | — |
| 計 | 180,678 | 103,105 | 51,994 | 335,777 | (12,993) | 322,784 |
| 営業損失 | △11,829 | △9,451 | △452 | △21,732 | (25) | △21,757 |

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

| | カーエレクトロニクス | ホームエレクトロニクス | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------|------------|-------------|--------|---------|---------|---------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対するもの | 66,340 | 51,426 | 13,465 | 131,231 | — | 131,231 |
| (2) セグメント間の内部取引 | 589 | 141 | 5,910 | 6,640 | (6,640) | — |
| 計 | 66,929 | 51,567 | 19,375 | 137,871 | (6,640) | 131,231 |
| 営業利益(△損失) | △1,213 | △9,752 | △624 | △11,589 | 239 | △11,350 |

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

| | カーエレクトロニクス | ホームエレクトロニクス | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|-----------------|------------|-------------|--------|---------|---------|---------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対するもの | 64,751 | 38,854 | 15,446 | 119,051 | — | 119,051 |
| (2) セグメント間の内部取引 | 495 | 234 | 3,363 | 4,092 | (4,092) | — |
| 計 | 65,246 | 39,088 | 18,809 | 123,143 | (4,092) | 119,051 |
| 営業利益(△損失) | 2,176 | △2,318 | 1,368 | 1,226 | (223) | 1,003 |

- (注) 1. 従来、「売上高」および「その他の営業収入」（特許料収入）の合計を「営業収入」として表示していましたが、特許料収入の連結業績に対する重要性が低下したことにより、当期から「売上高」に「その他の営業収入」を含めて表示しています。前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示していません。
2. 各セグメントにおける主要な製品は次のとおりです。
- 「カーエレクトロニクス事業」
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、カースピーカー
 - 「ホームエレクトロニクス事業」
オーディオシステム、オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器、ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクレコーダー、ブルーレイディスクドライブ、DVDプレーヤー、DVDレコーダー、DVDドライブ、プラズマディスプレイ
 - 「その他事業」
FA機器、スピーカーユニット、電子部品、有機ELディスプレイ、電話機、AVアクセサリ、業務用AVシステム、光ディスク関連特許の使用許諾

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社

コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小谷 進

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役

(氏名) 岡安 秀喜

TEL 044-580-3211

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|---------|---|---------|---|---------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 322,784 | △29.6 | △21,757 | — | △24,836 | — | △44,730 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 458,273 | △22.9 | △25,690 | — | △25,502 | — | △73,966 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | △218.18 | — |
| 21年3月期第3四半期 | △360.78 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 389,738 | 69,168 | 16.9 | 321.21 |
| 21年3月期 | 429,093 | 111,848 | 25.8 | 538.98 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 65,851百万円 21年3月期 110,498百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の期末配当については、業績等を考慮して今後決定する予定です。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-------|---------|---|---------|---|---------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 445,000 | △20.4 | △21,600 | — | △27,100 | — | △54,000 | — | △263.40 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 0社 (社名) 除外 0社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 210,063,836株 | 21年3月期 | 210,063,836株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 5,054,183株 | 21年3月期 | 5,051,933株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 205,010,552株 | 21年3月期第3四半期 | 205,015,042株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提条件および注意事項等については、3ページおよび4ページをご参照下さい。